

武蔵越生



Musashi Ogose Times

学校法人 越生学園 武蔵越生高等学校 〒350-0417 埼玉県入間郡越生町上野東 1-3-10
☎049(292)3245(代表) 049(292)6081 http://www.musashiogose-h.ed.jp E-mail:bosyu@musashiogose-h.ed.jp

NAVI

1面

・学校長挨拶
・全国高校サッカー
埼玉県大会報告

2面

・3年生主任の言葉
・卒業式表彰生徒
・3年生進路報告
・集合写真

3面

・3年間の思い出
・卒業生3年間の足跡
・生徒会十二タ・ミニ文化祭
・Tシャツコンテスト

4面

・サッカー部主将の言葉
・チアリーダー部全国大会3位入賞
・陸上部関東高校駅伝大会出場
・家庭科部観閲式記念品に選出

さらなる高みへ!



全国高校サッカー埼玉県大会準優勝



視野を広げる挑戦を
校長 一川 智宏

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、学校行事や公式試合が縮小や中止となつてしまいました。ようやくワクチンの接種が始まりますが、世界的に鎮静化するのはいつになるのでしょうか。そのような年に卒業する皆さんですが、「行うことよって学ぶ」の建学精神のもと、三ヶ年の学業を修め、一人ひとりが違う道を歩きます。

卒業生の皆さんの門出にあたり、私から三つのことを伝えたいと思います。一つ目は「視野を広げる挑戦をしてほしい」ということです。著名な小説家の城山三郎氏の言葉に「背伸びして視野を広げているうち、背が伸びてしまうこともあり得る。それが人生の面白さである。」

二つ目は、「感謝と思いやりの心を忘れないでほしい」ということです。人は一人で生きていくわけではありません。感謝と思いやりの心を持って人に接する、そんな姿勢をいつまでも持ち続けてください。三つ目は、「社会の一員としての自覚と責任を持ち、社会に貢献してほしい」ということです。コロナ禍の中で生まれた新しいサービスがあります。おそらく、何ができるのか考え、絞り出されたことだと思います。社会の一員としての自覚と責任をしっかりと持ち、今、自分のできることは何かを問い、できることから行ってみても良いのではないのでしょうか。答えの無い問いに対する最適解を絞り出せるのは皆さんかもしれません。卒業生の皆さんはまだ未知の可能性を秘めています。挑戦することで可能性を探索すれば、さらなる活躍ができるでしょう。

- 前列右より
石井 悠斗(さいたま土屋中)
戸澤 学(寄居城南中)
金田 翔(川島西中)
木村 一世(坂戸中)
松永 浩弥(上尾原市中)
寺島 啓太(新座中)
石田 哲也(飯能第一中)
関根 拓郎(葦原中)
二列目右より
常木 勝瑛(鶴ヶ島南中)
廣重 温人(川口里中)
渡辺 光陽(さいたま大谷中)
永倉 歩夢(葦原中)
米山 大智(新座第三中)
五十嵐 大翔(鶴ヶ島西中)
丹野 愛斗(三芳中)
石澤 将基(川越東中)
氏原 将兵(上藤沢中)
伊藤 志(伊奈中)
三列目右より
瀬戸 萌輝(越生中)
宮林 志音(高萩北中)
木村 啓真(高麗川中)
辻 舞夢(越生中)
山田 悠聖(堀兼中)
猪本 陽斗(鳩山中)
須田 耀舟(向原中)
増嶋 夢叶(狭山中央中)
波田 優斗(鶴ヶ島西中)
石本 浩大(都幾川中)
郡司 凌(千代田中)
大竹 暖虎(川越東中)

全国高校サッカー埼玉県大会報告

応援ありがとうございました。
サッカー部監督 西澤 浩一

昨年の県新人大会は三位より一次予選免除二回戦から出場。二回戦深谷第一に3-0、三回戦は前年度三位の国際学院に2-0、準々決勝立教新座に1-0と勝ち進み、十五年ぶり四回目のベスト4進出。準決勝では昨年度の選手権埼玉県大会準優勝の西武台と対戦した。本校のチームは粘り強く忠実な守備。前線の選手から敵の守備陣に重圧をかけ、交代選手を投入し流れを一変させる戦略が特徴で、西武台戦でもチーム戦術がはまり、PK戦までもつれる試合で



未来へ

PTA会長 小峰 誠

武蔵越生高等学校三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
 高校生活の三年間という、長い人生から見れば僅かばかりの時間の中で、皆さんは見違えるように立派に成長されました。これはひとえに、勉強や部活動、課外活動などで達成感と挫折感を味わいながら、皆さん自身が学び得た努力の賜物です。
 そして、ご家族や校長先生をはじめ教職員の皆様はもちろん、多くの先輩や後輩、友達との交流から得た思いやりや厳しさによって育まれてきたからだと思います。
 本年度は新型コロナウイルスの影響で様々な学校行事が中止となってしまいました。私どもPTAと皆さんとの関わりが最も深かったのは、強歩大会だったと思います。給水ポイントで皆さんを迎えましたが、しっかりとした挨拶、笑顔で仲間と話している姿を見て、とてもうれしく思いました。近隣の方からも挨拶がしつかりと出ていましたというお言葉も頂けました。
 これからはそれぞれの道を歩むことになると思います。失敗を恐れずに挑戦し、失敗した時はその理由を考えて反省してください。未来への役に立つと思います。一步一步、頑張ってください。

3年間の思い出



HR合宿



入学式



ウォークラリー



修学旅行 シドニークルーズ



じゃえき祭



体育祭



Tシャツコンテスト

様々な制限がある中で、いかにして主体的に学校生活を送るか。今を生きる高校生に課せられた課題である。多くの学校が工夫して行事を開催してきた一年だが、本校は生徒の提案で新しいものに取り組んだ。九月一日から実施した「Tシャツコンテスト」、文化部・チャリダー部による「ミニ文化祭」、十二月には二〇二〇年の想いを込めた「十二夜(しわすばた)」。今まで経験したことがないことにトライできたことは生徒会として大きな成果となった。

「今」だからできたこと

生徒会顧問 江本八積

卒業生 3年間の足跡

- 【野球部】
夏季埼玉県高等学校野球埼玉県大会ベスト16
- 【サッカー部】
全国高等学校選手権埼玉県予選準優勝
- 【男子ソフトテニス部】
インターハイ31回 関東大会33回 出場
- 【女子ソフトテニス部】
関東大会出場
- 【陸上部】
関東高校駅伝出場
- 【柔道部】
関東高校柔道大会 出場
- 【弓道部】
西部支部弓道大会個人3位
- 【剣道部】
埼玉県大会団体 ベスト32
- 【女子バレーボール部】
埼玉県大会出場
- 【男子バスケットボール部】
全国高等学校選手権埼玉県予選 ベスト8
- 【卓球部】
埼玉県大会出場
- 【バドミントン部】
県民総体兼高等学校新人大会 団体・ダブルス ベスト16
- 【チアリーディング部】
全日本高等学校選手権大会 第3位入賞
- 【吹奏楽部】
東京ディズニーリゾート12年連続出場
- 【和太鼓部】
全国高等学校総合文化祭出場
- 【茶道部】
裏千家三者合同茶会
- 【家庭科研究部】
私学文化祭 最優秀賞
- 【英語部】
神戸女学院大学絵本翻訳コンクール佳作



十二夜



ミニ文化祭

club activities 武蔵越生

全日本高等学校選手権大会出場 『第3位入賞』



チアリーダー部

顧問
内川 恵理子
宮川 由佳

一月三十一日、コロナ禍での開催となりましたが無事、大会に出場する事が出来ました。「チア愛大爆発！PANTHERS FAMILY総力戦！」を合言葉に、二チーム出場致しました。大会成績はAチーム・Bチームともに、『第三位入賞』を果たしました。今年一年思い切り練習が出来ず、仲間とも会えず、不安な日々を過ごした時もありました。動画を送りあいながら練習した事も、様々な思いがよみがえります。PANTHERS魂が大爆発し実を結び、最高の結果で締めくくる事ができました。コロナ禍での練習は、学ぶ事が多く、新たな発見、新たな思考が生まれました。今後も部員一同、心ひとつに精進していきます。

サッカー部 選手権決勝進出



サッカー部 埼玉県高等学校選手権大会準優勝 決勝戦を終えて 主将 木村 一世(坂戸中出身)

私たちサッカー部は、全国大会出場を目指して日々努力してきました。本校の部活動の中では一番人数が多いです。スタメン争いが激しくなりますが、その分互いに高めあうことができました。

今回の選手権では埼玉県準優勝という結果でした。あの舞台上に立てたのは人生の中で一番の宝物だと思っています。スタジアムに入場制限がありました。テレビの前で応援して下さった方々に本当に感謝しています。ありがとうございました。後輩のみんなは優勝を目指して頑張ってください。



【対戦結果】

- 3回戦 対国際学院 2-0
- 4回戦 対立教新座 1-0
- 準決勝 対西武台 1-1(PK4-3)
- 決勝 対昌平 0-3



陸上部

関東高校駅伝大会出場

顧問 丸山 翔

十一月二十一日に栃木県のカシキスタジアムで開催された関東高等学校駅伝競走大会に出場しました。今大会はコロナウイルスの影響もあり通常のレースができず、区間ごとにトラックで出走する変則的なレースでした。8位入賞という目標は達成できませんでした。2時間6分53秒で駆け抜け、次のシーズンに向け、勢いのつくタイムになりました。今後も引き続き全国高校駅伝出場に向け、練習に励んでいきたいと思っております。ご声援ありがとうございました。

和太鼓部「V6の愛なんだ2020」出演

顧問 青山 敦
宗政 大輝



和太鼓部は十一月三日、TBSテレビで放送された「V6の愛なんだ2020」に出演させていただきました。コロナ禍の中で部活動が制限され発表の機会を失った高校生に発表の場を作るというコンセプトの下、和太鼓部は「青春を止めるな！青春パフォーマンズスリラー」というコーナーに出演し、V6の三宅健さんと和太鼓の演奏をさせていただきました。現三年生である和太鼓部青龍三十三代目は全国大会の出場を決めていましたが全国大会もWEBでの開催になり、定期演奏会も人数制限のある中で開催を余儀なくされ部活動生活の終盤を完全燃焼できずにはいりましたが、このような機会をいただき部員たちは素晴らしい経験をすることができました。

家庭科研究部 内閣総理大臣献上品に

顧問 松元 裕子



コロナ禍で思うような活動ができない中ではありましたが、山口農園の協力のもと梅のギフト作成に参加してもらいました。家庭科研究部では、ギフトを包むための風呂敷を作り、さらに梅染色を行いました。その活動が基となり自衛隊基地で毎年行われる観閲式の中で、内閣総理大臣と防衛大臣への献上品として選ばれました。今年はい実際に当日参加することはできませんでしたが、無事に献上されました。そして、その活動などを埼玉新聞に掲載していただきました。